



あいおいニッセイ同和損害保険

MS&AD INSURANCE GROUP

東京都
スポーツ推進殿堂入り企業

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

We are in this together! Beat covid-19



川内優輝選手 マラソンサブ20・100回達成！（2020.12.20防府読売マラソン）

上智大学と共同で『多文化共生社会研究所』を設立

当社と上智大学などを運営する学校法人上智学院は2018年より包括連携協定を締結している。これまでの両者の知見や取組をレガシーとして残すとともに、共生社会のあり方を学術的に深めることにより、共生社会の構築に向けた人財育成と社会への指針を示すことを目指し、「上智大学多文化共生社会研究所」の新設に至り、障害者スポーツの普及支援を行っている。これにより、産学連携の新たなカタチを創造していく。

名称	上智大学多文化共生社会研究所
所在地	東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学3号館内
設置年月	2020年8月
代表者	研究部長 久田 満 総合人間科学部心理学科 教授（上智大学副学長）
研究員	上智大学：久田 満 教授 ほか教員6名 あいおいニッセイ同和損保：倉田秀道（経営企画部）
研究主題目	多文化共生社会の実現、共生社会の構築に向けた人財育成
研究の目的	① カトリック・イエズス会の課題である「社会から排除された人々と歩む」ことを通じて、国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の根幹にある「誰一人取り残されない」社会の実現を目指すこと ② 共同研究、協働活動を通じて新たな産学連携モデルの構築を目指すこと
研究内容	① 障害者スポーツの普及支援に関すること ② 大災害の被災者支援に関すること ③ 日本に暮らす外国人とその家族の支援に関すること ④ 地域との関わりに関すること ⑤ その他

所属アスリートによる社会活動&川内優輝選手によるマラソンキャラバン



全国自治体主催による各種事業はコロナ禍で当面中止となっていた。10月以降少しずつ再開し始め、所属アスリートを派遣して地域貢献活動をコツコツと実施している。

また、川内優輝選手による「マラソンキャラバン」も10月以降再開。いずれも、コロナ感染対策に配慮しながら実施している。



企業データ

所在地 渋谷区

業種 損害保険業

総従業員数 約16,100名

withコロナの取組

イントラ社内報・公式Facebookでの所属アスリートによる「応援バトンリレー」投稿

緊急事態宣言下の5月1日より7月初旬までの約2ヶ月間、「応援バトンリレー」と称して、イントラでの社内報ウェブサイトとスポーツ公式Facebookの2媒体を活用して所属アスリートによるリレー投稿を行った。

投稿では、選手がどのように工夫して練習しているかや、おうち生活を楽しむための工夫などを掲載した。これらは、在宅勤務かつステイホームで工夫しながら業務を行う全国の社員に元気を届けたり、社会の皆さまに少しでも自宅生活を楽しむために役立った。

【参考】スポーツ公式Facebook <https://www.facebook.com/adchallenge/>



コロナ禍でもアスリート採用は着実に継続

当社では、コロナ禍にあっても、アスリート支援を滞らせることなく採用活動を着実に継続している。

今年度はパラアスリート2名を採用、及び、マラソン選手1名と所属契約を締結、合計3名のアスリートを迎えた。入社式は時節柄それぞれの配属拠点で、職場社員が総出で感染対策をしながら設営し、リアル参加とオンライン参加に分かれてハイブリッドで実施した。通常の入社式と異なる温かみある手づくり入社式となった。



全国の自治体・関連団体等への寄贈活動を実施

当社では、自治体をはじめ地域の団体に対し、コロナ禍においても団体の事業を継続いただくため、寄付金等の寄贈活動を止めることなく継続している。具体的には、自治体、スペシャルオリンピクス日本、スポーツ関連団体、マラソン主催団体などに寄贈している（昨年度は約30団体に寄贈）。



東京都スポーツ推進大使 ゆりーと

STAFF'S VOICE

当社の活動は、スポーツメセナとコーポレートスポーツの融合型として「オンリーワンのスポーツ支援のスタイル」と評されています。これは、SDG'sと運動した持続可能性を追求した取組を展望している証左かもしれません。アスリートが主役であることを肝に銘じ、アスリートの活動に関わるあらゆる領域を支えるべく、「本気」で取組んでいます。



経営企画部 倉田秀道、水野真紀